

施策2 健やかな体の育成

- a 大変順調(達成率100%以上→「目標達成」)
- b 順調 (同90%以上)
- c やや遅れ(同70%以上)
- d 遅れ (同70%未満)

施策の評価	令和4年度	令和5年度
	C	A

指標の達成率		重点指標								
R4年度	R5年度	項目	H30(2018)基準値	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)		
d	b	全国体力・運動能力の実技結果全国平均値以上の項目の割合	小5男子	目標	—	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
				実績	87.5%	100.0%	調査中止	実技未実施	75.0%	100.0%
				達成率	—	目標達成	—	—	75.0%	目標達成
			小5女子	目標	—	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
				実績	87.5%	100.0%	調査中止	実技未実施	62.5%	100.0%
				達成率	—	目標達成	—	—	62.5%	目標達成
			中2男子	目標	—	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
				実績	88.9%	88.9%	調査中止	実技未実施	88.9%	88.9%
				達成率	—	88.9%	—	—	88.9%	88.9%
			中2女子	目標	—	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
				実績	77.8%	88.9%	調査中止	実技未実施	44.4%	77.8%
				達成率	—	88.9%	—	—	44.4%	77.8%
a	a	「体育・保健体育が楽しいと思う」と回答した児童生徒の割合	小学校男子	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
				実績	92.9%	95.1%	調査中止	94.6%	94.6%	95.9%
				達成率	—	94.6%	—	93.8%	94.0%	94.7%
			小学校女子	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
				実績	89.5%	91.8%	調査中止	89.2%	90.6%	91.3%
				達成率	—	91.3%	—	89.2%	89.5%	89.9%
			中学校男子	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
				実績	89.5%	89.3%	調査中止	92.3%	92.0%	92.4%
				達成率	—	89.3%	—	89.9%	90.9%	89.7%
			中学校女子	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
				実績	85.4%	84.0%	調査中止	86.2%	85.6%	87.9%
				達成率	—	84.4%	—	83.1%	83.8%	82.7%
中1	目標	—	57.1%	57.9%	58.7%	59.5%	60.3%			
	実績	56.3%	57.5%	57.9%	58.7%	62.4%	64.4%			
	達成率	—	67.3%	68.2%	70.6%	71.7%	74.2%			

※ 「う歯のない生徒の割合」については、これまでの取組の結果、年々改善傾向にあり目標は達成しているものの、政令市の中では依然として最下位という状況であるため、今後とも、「学校における歯と口の健康づくり推進計画」に基づき、より一層取組を推進していく。

参考指標									
項目		R0(2018) 基準値	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)		
1週間に60分以上運動する生徒の割合	小5男子	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
		実績	91.6%	93.1%	調査中止	90.6%	91.5%	91.9%	
		区(実績)	92.8%	92.3%	調査中止	91.2%	91.2%	91.0%	
	小5女子	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
		実績	87.1%	88.9%	調査中止	85.1%	84.9%	83.8%	
		区(実績)	86.8%	87.0%	調査中止	85.6%	85.4%	83.3%	
	中2男子	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
		実績	91.1%	89.2%	調査中止	89.7%	89.7%	86.3%	
		区(実績)	93.5%	92.9%	調査中止	92.2%	92.2%	89.1%	
	中2女子	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
		実績	74.1%	75.1%	調査中止	76.4%	75.9%	70.3%	
		区(実績)	80.6%	80.6%	調査中止	82.0%	82.1%	75.1%	
【減少目標】 中学校の給食残食率	米飯	目標	—	4.4%	4.3%	4.2%	4.1%	4.0%	
		実績	4.4%	4.9%	2.3%	10.2%	9.9%	8.2%	
		達成率	—	88.6%	目標達成	0%未満	0%未満	0%未満*	
	パン	目標	—	5.4%	5.3%	5.2%	5.1%	5.0%	
		実績	5.4%	5.9%	3.0%	11.0%	10.4%	7.5%	
		達成率	—	90.7%	目標達成	0%未満	0%未満	50.0%	
	副食	目標	—	3.5%	3.4%	3.3%	3.2%	3.0%	
		実績	3.6%	3.8%	1.9%	6.5%	5.8%	4.6%	
		達成率	—	91.4%	目標達成	4.5%	20.3%	46.7%	
	朝食を毎日「食べている」「どちらかと言えば食べている」と回答した児童生徒の割合	小6	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
			実績	91.8%	92.6%	調査中止	92.0%	91.3%	89.6%
			区(実績)	94.5%	95.3%	調査中止	94.9%	94.4%	93.9%
中3		目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
		実績	89.0%	91.0%	調査中止	90.9%	89.7%	88.1%	
		区(実績)	91.9%	93.1%	調査中止	92.8%	91.9%	91.2%	
【減少目標】 肥満傾向児の割合 【肥満度20%以上】	小5男子	目標	—	9.8%	9.7%	9.6%	9.5%	9.3%	
		実績	9.9%	11.1%	16.9%	15.0%	15.5%	15.4%	
		区(実績)	10.1%	10.6%	14.2%	12.6%	R5:11公表	R5:11公表予定	
	小5女子	目標	—	8.1%	8.0%	7.9%	7.8%	7.6%	
		実績	8.2%	9.4%	11.6%	10.2%	11.5%	11.9%	
		区(実績)	7.8%	8.5%	9.5%	9.3%	R5:11公表	R5:11公表予定	
【減少目標】 瘦身傾向児の割合 【肥満度▲20%以下】	中学校女子	目標	—	3.3%	3.2%	3.1%	3.0%	2.8%	
		実績	3.4%	3.5%	3.1%	3.0%	2.9%	3.3%	
		達成率	—	93.9%	目標達成	目標達成	目標達成	82.9%	
H30までの質問内容：健康でいるために、運動を行うことが「大切・やや大切」と回答した児童生徒の割合	小5男子	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
		実績	95.4%	94.6%	調査中止	92.5%	92.3%	94.3%	
		区(実績)	96.1%	94.2%	調査中止	92.7%	93.4%	93.8%	
	小5女子	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
		実績	95.4%	92.1%	調査中止	89.4%	89.5%	90.1%	
		区(実績)	96.2%	92.7%	調査中止	90.1%	90.7%	90.4%	
	中2男子	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
		実績	95.5%	93.3%	調査中止	93.6%	93.0%	93.0%	
		区(実績)	95.9%	93.4%	調査中止	93.2%	92.1%	92.0%	
	中2女子	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
		実績	95.9%	89.3%	調査中止	89.3%	87.0%	86.0%	
		区(実績)	96.1%	89.9%	調査中止	89.4%	86.6%	85.1%	
達成率	—	99.3%	—	99.9%	目標達成	目標達成			

*【減少目標】の考え方についてはp.13のとおり

実施内容と成果

■令和5年度は、小・中学校男女で、体力合計点で全国平均を上回った。令和4年度と比べても、小・中学校ともに多くの種目で全国平均を上回り、小学校では、全ての種目について全国を上回った。体育『好きっちゃ』プログラムの活用や学びチャレンジリーディング校の公開授業等により、体育の授業改善に取り組んできた成果が表れている。引き続き、「体育・保健体育が楽しい」「運動が好き」という子どもの育成を目指した授業改善に取り組み、体力の向上を図っていく。

体力合計点については、全国平均と比較すると上回っているものの、コロナ禍前をピークに低下傾向にあるため、引き続き体力向上の取組を推進していく必要がある。

■東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会開催に向けて実施した「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」について、この成果を令和 4 年度より「レガシー」として継承し、アスリートとの交流やスポーツの体験等を通して、体力向上・豊かなスポーツライフの実現につなげるため、本市独自の「スポーツ振興事業」を実施している。令和5年度は小学校16校、中学校3校、幼稚園1園が実施している。

■小・中学校給食について、新型コロナウイルス感染症等の様々な社会情勢による物価の上昇で、給食に使用する食材の価格の高騰が続く中、子育て世帯の負担軽減を図るため、給食食材の価格高騰分の経費について予算を計上し、引き続き給食費を据え置いたまま、たけのこ、ブロッコリー、ロマネスコ等の地場産食材や、児童生徒に人気の高い果物やデザート等、多様な食材を取り入れたバラエティ豊かで魅力ある給食を提供した。

8回目となる「学校給食献立レシピコンクール」において、令和5年度は、小学校 2,393 品、中学校 2,968 品と過去最高の応募総数となった。応募総数は年々増加しており、児童生徒の食に関する興味・関心を高めることにつながっている。

■「う歯のない生徒の割合」については、歯科健診、フッ化物塗布等これまでの取組の結果、年々改善傾向にあり目標は達成しているものの、政令市の中では依然として最下位という状況であるため、令和 4 年 3 月に策定した「学校における歯と口の健康づくり推進計画」に基づき、令和 3 年度より段階的に開始してきたフッ化物洗口を、令和 5 年度に全市立小学校で開始した。また、特別支援学校小学部2、3年生に実施してきたフッ化物塗布は、令和5年度より対象を拡大し、小学部全学年で実施できるようにした。

全体評価と課題、今後の方向性等

■体力の向上に関しては、小・中学校男女で、体力合計点で全国平均を上回り、取組の成果が表れていると感じる。「体育・保健体育が楽しいと思う」と回答した児童生徒の割合についても、全国平均を上回り体育の授業改善に取り組んできた成果が表れている。

しかし、運動習慣の定着については、中学校男女において全国平均を下回った。そのため、継続して「楽しい体育の授業の実践」に取り組んでいくとともに、課題である「運動習慣の形成」「生活習慣の改善」に着目し、課題改善に向けた取組を推進していく必要がある。

■食育の推進と健康保持については、学校給食を「生きた教材」として活用し、栄養教諭等と連携した食育指導を充実するなど、学校における食育を推進する。

■学校給食については、引き続き、子育て世帯の負担軽減の観点から、給食食材の価格高騰分の経費について予算計上し、質の維持や地場産物の継続活用を行う。

また、「学校給食魅力向上事業」として新たな予算を計上し、多彩な献立を提供するため、スチームコンベクションオープンを全校に設置する。さらに、「おいしい給食大作戦」の取組として、市内の栄養士養成大学や料理人等で構成される「学校給食応援団」を発足し、専門的な助言やメニューに関する提案、食育に関する取組を実現する。

■「学校における歯と口の健康づくり推進計画」では、むし歯や歯肉炎のない児童生徒の増加について数値目標を定めており、本計画に基づき、望ましい生活習慣の形成、歯科受診の促進、フッ化物洗口等の推進を施策の柱として取り組んでいく。

■タブレット等のデバイスを使用する機会が多くなったことなどから、児童生徒の視力の低下が話題となっている。指標にはなっていないものの、健やかな体の育成に大きく関わるところであるため、引き続き注視していく。

補足資料(経年変化等)

●全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果(全国平均値との年度別比較)

《出典:全国体力・運動能力調査》

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により調査が中止となったため、実績なし。

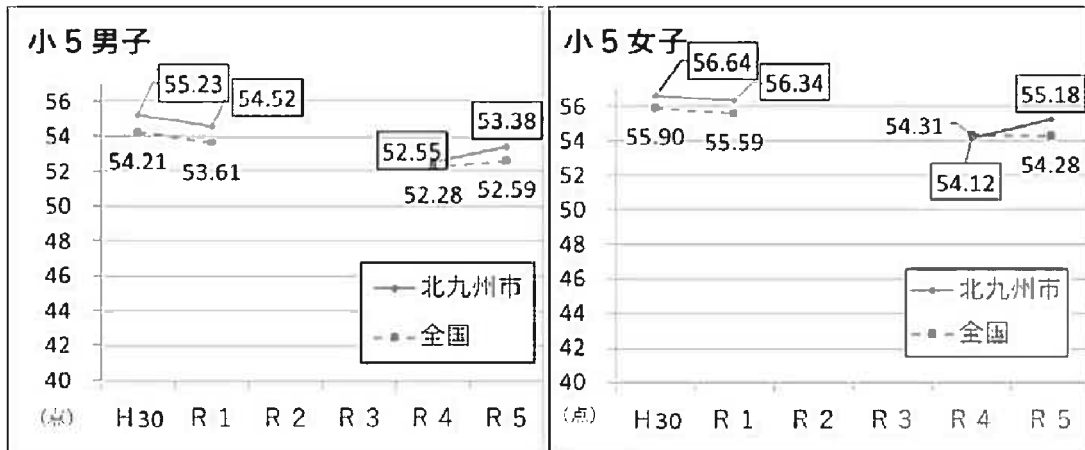
※令和3年度は、調査予定期間中に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置が適用された。このことから、本市においては、実技に関する調査を実施していない。

◆小学校5年生

※ は、全国平均値以上の項目。

測定項目	小5年 男子				小5年 女子			
	R4全国	R4本市	R5全国	R5本市	R4全国	R4本市	R5全国	R5本市
① 握力 (kg)	16.21	16.29	16.13	16.30	16.10	16.24	16.01	16.35
② 上体起こし (回)	18.86	18.72	19.00	19.17	17.97	17.46	18.05	18.36
③ 長座体前屈 (cm)	33.79	34.05	33.98	34.49	38.18	38.12	38.45	38.88
④ 反復横とび (点)	40.36	39.47	40.60	40.75	38.66	37.90	38.73	38.78
⑤ 20mシャトルラン (回)	45.92	46.86	46.92	49.29	36.97	38.13	36.80	39.26
⑥ 50m走 (秒)	9.53	9.51	9.48	9.48	9.70	9.69	9.71	9.70
⑦ 立ち幅とび (cm)	150.83	151.13	151.13	152.47	144.55	144.81	144.29	145.97
⑧ ソフトボール投げ (m)	20.31	21.34	20.52	21.39	13.17	13.31	13.22	13.51
体力合計点 (点)	52.28	52.55	52.59	53.38	54.31	54.12	54.28	55.18

【体力合計点推移】



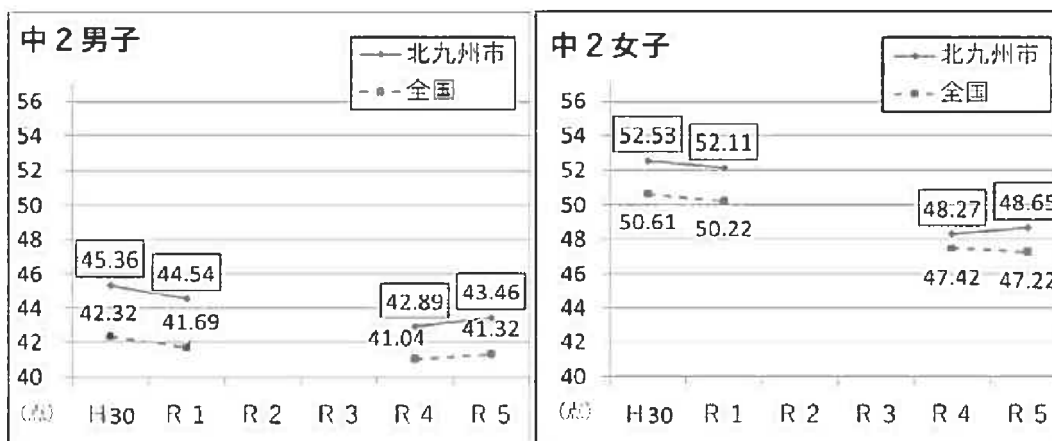
◆中学校 2 年生

※ は、全国平均値以上の項目。

※持久走が 20m シャトルランのどちらかを選択する。

測定項目	中2年 男子				中2年 女子			
	R4全国	R4本市	R5全国	R5本市	R4全国	R4本市	R5全国	R5本市
① 握力 (kg)	28.99	29.89	29.02	29.72	23.21	23.48	23.15	23.64
② 上体起こし (回)	25.74	26.05	25.82	26.24	21.67	21.58	21.62	22.08
③ 長座体前屈 (cm)	43.87	45.62	44.16	46.29	46.07	47.11	46.27	47.52
④ 反復横とび (点)	51.05	51.43	51.22	51.95	45.81	45.64	45.65	46.35
⑤ 持久走 (秒) ★	409.81	411.48	409.02	413.28	302.89	303.38	306.26	320.97
⑤ 20m シャトルラン (回)	78.07	79.38	78.07	80.12	51.60	50.85	50.70	51.41
⑥ 50m走 (秒)	8.06	7.98	8.01	7.86	8.96	8.95	8.95	8.86
⑦ 立ち幅とび (cm)	196.89	200.49	197.02	201.52	167.04	169.09	166.34	170.70
⑧ ハンドボール投げ (m)	20.28	20.64	20.40	20.51	12.45	12.41	12.43	12.13
体力合計点 (点)	41.04	42.89	41.32	43.46	47.42	48.27	47.22	48.65

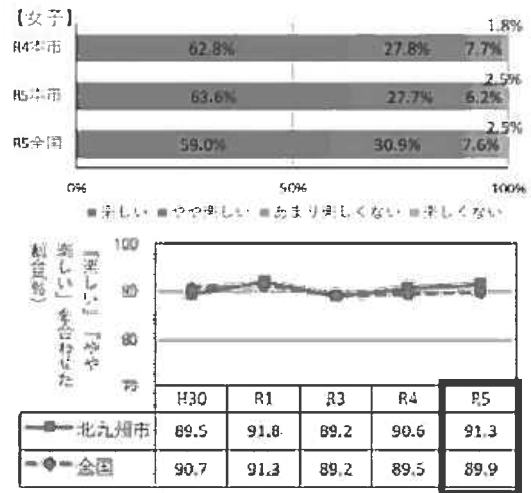
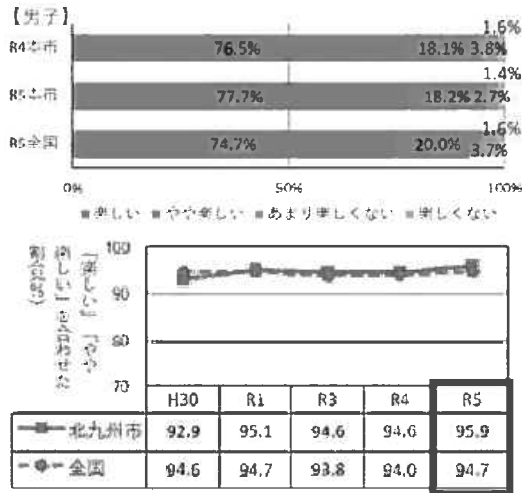
【体力合計点推移】



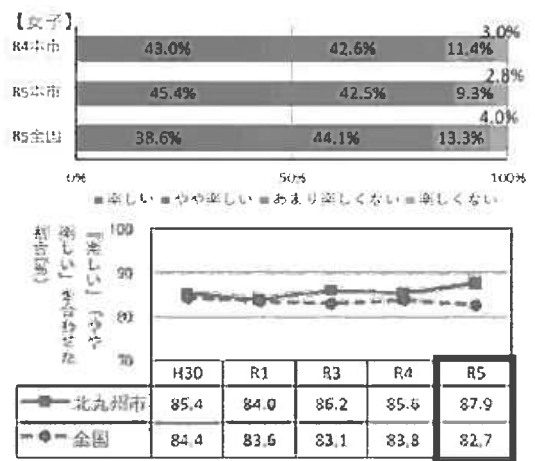
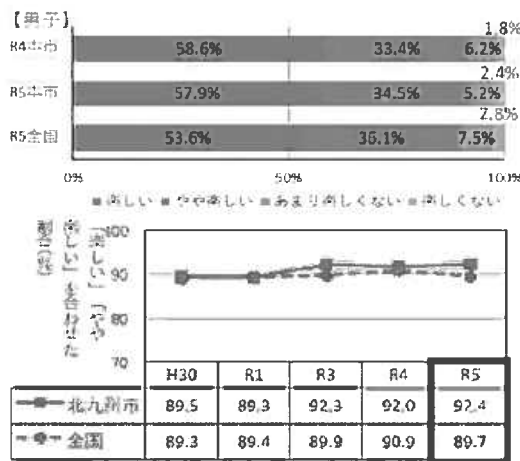
●「体育・保健体育の授業は楽しいと思う」と回答した児童生徒の割合(年度別推移)

《出典:全国体力・運動能力調査》

◆小学校



◆中学校



●う歯(むし歯)のない者の割合(年度別推移)

《出典:学校保健統計調査》

年度		H30	R1	R2	R3	R4	R5
小1	本市	50.8%	49.9%	55.6%	58.5%	62.1%	64.1%
	全国	59.8%	59.8%	63.5%	67.0%	70.0%	未公表
中1	本市	56.3%	57.5%	57.9%	58.7%	62.4%	64.4%
	全国	67.3%	68.2%	70.6%	71.7%	74.2%	未公表

施策3 豊かな心の育成

- a 大変順調(達成率100%以上 →「目標達成」)
- b 順調 (同90%以上)
- c やや遅れ(同70%以上)
- d 遅れ (同70%未満)

施策の評価	令和4年度	令和5年度
	A	B

指標の達成率		重点指標											
R4年度	R5年度	項目		H30(2018) 基準値	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)				
b	b	「自分にはよいところがある」と回答した児童生徒の割合 p.27参照	小6	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上			
				実績	82.7%	78.0%	調査中止	76.1%	76.3%	80.3%			
				国(実績)	84.0%	81.2%	調査中止	76.9%	79.3%	83.5%			
				達成率	—	96.1%	—	99.0%	96.2%	96.2%			
			中3	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上			
				実績	78.4%	72.9%	調査中止	75.3%	77.8%	78.1%			
				国(実績)	78.8%	74.1%	調査中止	76.2%	78.5%	80.0%			
a	b	「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した児童生徒の割合 p.28参照	小6	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上			
				実績	94.7%	94.4%	調査中止	95.4%	95.3%	95.7%			
				国(実績)	95.2%	95.2%	調査中止	95.5%	95.1%	95.9%			
				達成率	—	99.2%	—	99.9%	目標達成	99.8%			
			中3	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上			
				実績	94.4%	94.5%	調査中止	95.3%	94.9%	94.4%			
				国(実績)	94.9%	94.3%	調査中止	95.0%	95.0%	94.6%			
				達成率	—	目標達成	—	目標達成	99.9%	99.8%			
			a	a	「住んでいる地域や北九州市が好き」と回答した児童生徒の割合 p.28参照	小5	目標	—	89.6%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	前年度以上
							実績	89.6%	89.7%	91.1%	92.6%	93.9%	94.3%
							達成率	—	目標達成	目標達成	目標達成	目標達成	目標達成
						中2	目標	—	86.3%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	前年度以上
実績	86.3%	87.3%					85.7%	88.7%	89.3%	89.3%			
達成率	—	目標達成					98.2%	目標達成	目標達成	目標達成			

参考指標								
項目		H30(2018) 基準値	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	
「将来の夢や希望を持っている」と回答した児童生徒の割合	小6	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
		実績	86.5%	85.7%	調査中止	80.5%	80.0%	81.1%
		国(実績)	85.1%	83.8%	調査中止	80.3%	79.8%	81.5%
		達成率	—	目標達成	—	目標達成	目標達成	99.5%
	中3	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
		実績	70.8%	71.0%	調査中止	67.6%	67.3%	66.8%
		国(実績)	72.4%	70.5%	調査中止	68.6%	67.3%	66.3%
「学校のきまりを守っている」と回答した児童生徒の割合	小6	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
		実績	88.3%	91.1%	調査中止	未調査	未調査	未調査
		国(実績)	89.5%	92.3%	調査中止	R3より調査項目から削除		
		達成率	—	98.7%	—	R3より調査項目から削除		
	中3	目標	—	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
		実績	95.0%	96.2%	調査中止	未調査	未調査	未調査
		国(実績)	95.1%	96.2%	調査中止	R3より調査項目から削除		
		達成率	—	目標達成	—	R3より調査項目から削除		

実施内容と成果

■「特別の教科 道徳」の教材として「北九州道徳郷土資料」を道徳科年間指導計画(北九州スタンダードカリキュラム)に必ず位置づけるなど、本市の小・中学生のシビックプライドの醸成に努めるとともに、よりよい生き方を実践する力を育む道徳教育を実施した。

■市立美術館と連携した「ミュージアム・ツアー」[市民文化スポーツ局事業]を実施(令和5年度はのべ130校、7,151人【対象である市内の小学3年生の約95%】が参加)し、芸術体験などを通じて、子どもたちのシビックプライド醸成を図った。

また、児童生徒相互の好ましい人間関係づくりのための「北九州子どもつながりプログラム」を全校(190校)で実施した。

全体評価と課題、今後の方向性等

■「自分にはよいところがある」の質問事項における肯定的回答の割合は、小・中学校どちらも、昨年度よりは増加したが、全国平均よりは低い。

「人の役に立つ人間になりたいと思う」の質問事項における肯定的回答の割合は、小学校は昨年度より微増したが、中学校は微減した。小・中学校ともに全国平均とほぼ同等である。

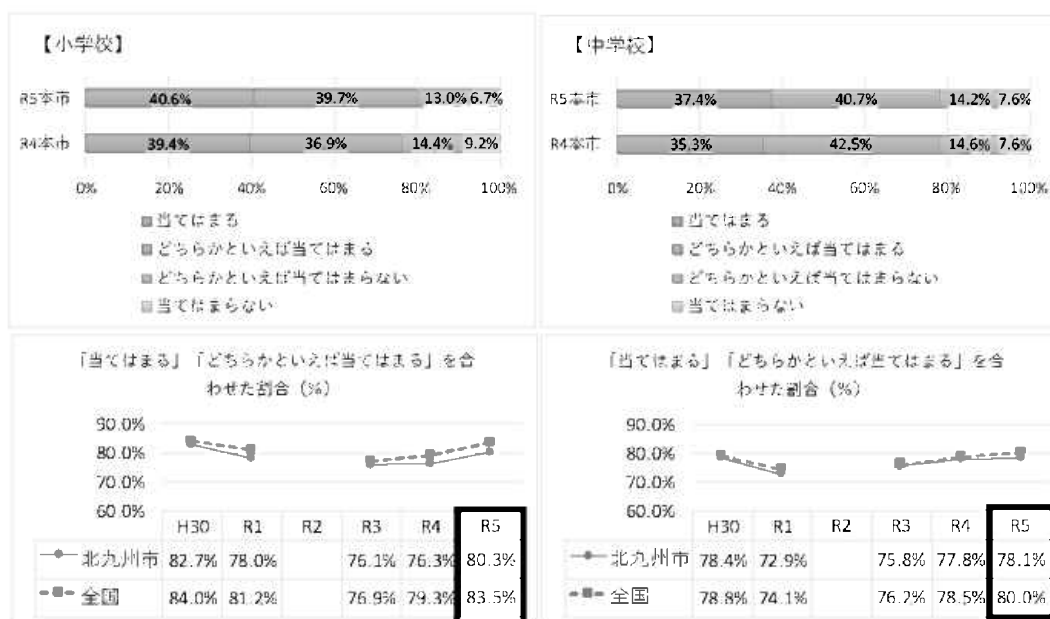
これらの結果から、今後は教育活動全体において、子どもの「主体性、協調性、やり抜く力等」のいわゆる「学びに向かう力、人間性等」(数値化しにくい学力)に働きかける、教師の温かな関わり(ほめる、見守る、受け止める等)をより一層推進していく。

■引き続き、道徳教育・文化芸術に触れる機会の充実や、人権教育の推進等により教育プランに基づく取組を着実に進めていく。

補足資料(経年変化等)

●「自分にはよいところがある」と回答した児童生徒の割合(年度別)

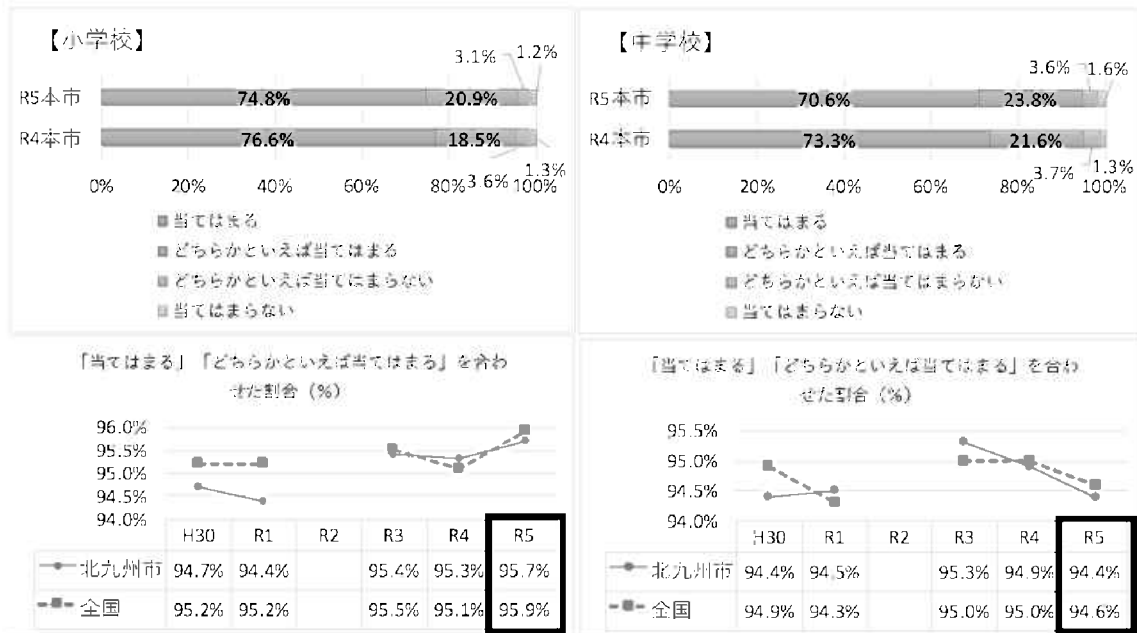
《出典:全国学力・学習状況調査》



※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により調査が中止となったため、実績なし。

●「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した児童生徒の割合(年度別)

《出典:全国学力・学習状況調査》



※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により調査が中止となったため、実績なし。

●「住んでいる地域や北九州市が好き」と回答した児童生徒の割合

《出典:北九州市学力・学習状況調査》

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5
小5	89.6%	89.7%	91.1%	92.6%	93.9%	94.3%
中2	86.3%	87.3%	85.7%	88.7%	89.3%	89.3%